



学校だより

令和3年9月30日
横浜市立豊田小学校
10月号

開く つなげる とともに

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

夏休みの「自由研究」から気付かされること

学校長

「5年の時、偉人の本を読む機会があり、マザーテレサの本を読みました。私は、誰かを助けたり、人のために何かをしたりする時、自分の損得を気にしてしまうので、そんなことを考えずにインドの貧しい人々のために一生を捧げたマザーテレサにとっても感激しました。そのことを夏休みに思い出し、マザーテレサの功績を誰かに知ってもらい、この気持ちを共有したいと思い、自由研究でまとめてみました。」と短いメモを手渡してくれた6年児童がいます。



【6年児童の自由研究】

【5年児童の自由研究】

その児童に、何か将来のことについて考えているのかなと尋ねたところ、「まだ、考えてはいないけど、廊下に袋が落ちていたら、すぐに拾って届ける自分でありたいなと思っています。」と答えてくれました。

《5年児童との対話から》

校長 「なぜ、SDGs(持続可能な開発目標)について、夏の自由研究に取り組むようにしたのかな。」

児童 「今、世界や日本でも話題になっていたから、調べてみようと思いました。」

校長 「今、テレビのCMでも、よく紹介しているからね。」

児童 「はい。インターネットで調べてみました。そうしたら、マンガでも描いてみたら、もっとよくわかるかも知れないよって、母からのアドバイスもあって、マンガも頑張って描いてみました。」

校長 「本当に、よく頑張ったね。やってみて、どうだったかな。」

児童 「今、本当に世界が変わろうとしているんだなって思いました。それに SDGsって、電気や水の小まめな節約や、食べ物を残さないなど、日常的なところからできることがあるんだなって、みんなにも、そのことに気付いて欲しいし、自分でも、今、やっています。」

この2人の児童と話をしてみても、長期化するコロナ禍でも、毎日をどう過ごせばいいのか、自分が住んでいる日本や世界、この地球がどうなっていくのだろうか、現在の先に行く未来について、おのずと関心をもたざるを得ない状況に置かれていることに気付かされます。そして、子どもたちは、今、世界と自分についての理解を深め、世界と自分との関わり合いを考え、深めていけるような機会や場を強く求めているようにさえ思います。

そんな未来を生きる子どもたちに、心からのエールを！頑張れ、豊田っ子！
10月16日は、国連が定めた「世界食料デー」です。